

座談会「会計基準の将来展望を語る (ASBJ の中期運営方針を踏まえて)」

昨年6月に企業会計審議会から「我が国における国際会計基準の取扱いに関する意見書（中間報告）」が公表され、今後、我が国としてどのような形で国際財務報告基準（IFRS）を受容していくかについてのロード・マップ（上場会社の連結財務諸表について、2010年3月期からIFRSの任意適用を認め、2012年を目途に強制適用するかどうかの判断を行う等）が示されたことから、我が国の会計基準がこれからどのような経過を辿って、どのような姿になっていくのかについて関心が高まっています。

こうした中、企業会計基準委員会（ASBJ）では、上記のロード・マップや2007年の東京合意に基づくIFRSとのコンバージェンスの推進といった課題を見据えつつ、IFRSの強制適用の開始など今後想定されるさまざまな事態に対して、会計基準の設定主体としてどのように取り組んでいくのか、あるいはどのような取組みを考えていくべきかについてまとめた中期運営方針を2010年6月16日に公表しました。

そこで今回は、ASBJの中期運営方針で掲げた問題意識を中心に、ロード・マップを巡る最近の企業会計審議会での議論や国際会計基準審議会（IASB）の動向などにも触れながら、会計基準の将来展望や今後のASBJの活動の在り方について、企業会計審議会においてロード・マップの取りまとめ等に尽力されてきた金融庁総務企画局総務課長、前企業開示課長の三井秀範氏をお招きし、ASBJ西川郁生委員長、加藤厚副委員長、新井武広副委員長を交えてお話をいただきました。読者の皆様にとって、会計基準の将来像についてさまざまに流布している情報を整理し、理解を深める一助になることを期待するものです。



（敬称略）

金融庁 総務企画局総務課長
（前企業開示課長）

みつい ひでのり
三井 秀範

ASBJ 委員長

にしかわ いくお
西川 郁生

ASBJ 副委員長

かとう あつし
加藤 厚

〔司会〕 ASBJ 副委員長

あらい たけひろ
新井 武広

